

第一支部

支 部 報 告

報告事項

1. 第1回 地区勉強会

日時：平成 25 年 9 月 11 日（水） 19：00～

場所：コムナーレ浦和 9 階（浦和パルコ）第 15 集会室

参加者：35 名

プログラム：

①検査の保険点数について

第一三共株式会社

手塚 一明

②「日常業務における検査の考え方」

CT 検査：済生会川口総合病院

城處 洋輔

MRI 検査：三愛病院

菅野 勝

一般撮影：済生会川口総合病院

土田 拓治

③ディスカッション

第二支部

心臓 CT セミナー 2013 開催報告

日 時：平成 25 年 9 月 7 日（土）13：00～19：00

場 所：OLS ビル（大宮法科大学院大学）2F 講堂

参加人数：204 人

内 容：ア. セッション I 『心臓 CT 最新技術報告』

座長：埼玉医科大学総合医療センター 鈴木 佳也

- a. 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン 北織 潤一
- b. シーメンス・ジャパン株式会社 吉田 博和
- c. 東芝メディカルシステムズ株式会社 大澤 幸恵
- d. GEヘルスケア・ジャパン株式会社 紫藤 尚利

イ. セッション II 『すぐに実行！心臓 CT Technics』

座長：所沢ハートセンター 大西 圭一

「明日から使える心臓 CT の造影」

三井記念病院 皆川 利浩

「好きになりたい、心電図」

小川赤十字病院 田中 達也

「ディスクッション - 不整脈対策について -」

- a. 済生会川口総合病院 城處 洋輔（SIEMENS 社製 CT）
- b. 上尾中央総合病院 館林 正樹（GE 社製 CT）
- c. 所沢ハートセンター 柴 俊幸（東芝社製 CT）

ウ. セッション III 『どこまでやる？読影の補助』

座長：埼玉医科大学国際医療センター 梅澤 達也

演者：神奈川県立がんセンター 太田 陽一郎

エ. 特別講演 I 『心臓 CT でわかること（石灰化スコア～心筋パフュージョン）』

座長：心臓画像クリニック飯田橋 吉田 諭史

講師：桜橋渡辺病院 心臓・血管センター画像 診断科長兼放射線科 部長 小山 靖史 先生

オ. 特別講演 II 『流体力学によるテイラーメド診断治療支援：現状と将来』

座長：済生会川口総合病院 富田 博信

講師：イービーエム株式会社 血流解析事業部 主任研究員

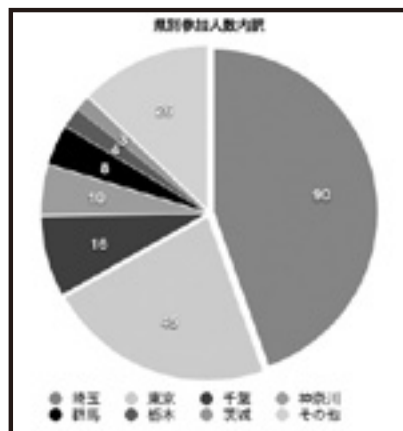
早稲田大学先端生命医科学センター 客員次席研究員 八木 高伸 先生

心臓 CT セミナー 2013 を終えて

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第二支部

所沢ハートセンター 放射線科 柴 俊幸

平成 25 年 9 月 7 日（土）、大宮法科大学院大学講堂にて心臓 CT セミナー 2013 が開催されました。当セミナーは 4 社 CT メーカーの最新情報提供から始まり、これから心臓 CT を始める方や、心臓 CT で疑問を感じている方々を対象とした基礎的な造影方法や、心電図の講演、臨床例を踏まえた不整脈症例への対応方法、血管造影に携わる際の心臓 CT の生かし方、そしてお招きした八木先生、小山先生の貴重な講演と広い範囲ながらも「明日から使える心臓 CT の知識と技術」を主なテーマとし、プログラムの企画を行いました。実行委員は埼玉はもちろん、関東近辺で心臓 CT に精通する方々に声を掛けさせていただ



き、お忙しい中尽力いただきましたこと、この場を借りて心から感謝申し上げます。

さて、長い準備期間を経ての開催となった当セミナーではありますが、開催報告の通り関東一都六県から204名というとても多くの方にご参加いただきました。心臓CTという限られたコンテンツを対象としたセミナーの開催に当たり、参加者が求めていることは何なのか、土曜の午後という貴重な時間をいただくに当たり、いかに飽きさせずに充実した内容を提供できるのかということを考え、少々詰め込み過ぎと思われるながらも、座長、演者をはじめ多数の方のご協力頂き開催に至ることができました。

心臓CTは多列CTをはじめとして発展を遂げてきました。その後、様々な臨床例を経て、内腔評価を求めれば検出器の分解能が上がり、時間分解能を求めれば高速回転のガントリやDual Sourceが登場、造影剤や被ばくの低減を求めてCoverageが広がったりと、ユーザーのニーズと機器メーカーの二人三脚で発展してきたと言っても過言ではありません。それゆえ今後の心臓CT発展のためには診療放射線技師の知識と技術の向上は必要不可欠と言えます。

今のCT機器は、プリセットされた条件で撮影を行えば、おおむね満足な画質を得ることが可能となったため、心臓CTは一般的な検査となり、専門施設でなくても施行され始めています。しかし現在、検査の普及に伴い、心臓CT従事者のレベルは徐々に乖離していると感じます。イレギュラーな症例や満足のない症例に出会った時に、「何が悪かったのか」「次にどうすればいいのか」ということを考えなければなりませんし、その答えを導くための知識を持ち合わせて検査に携わらなければなりません。施設の方向性や目的、業務体系により、どこまで深い検査を求めるのかは難しい問題ではありますが、携わる診療放射線技師個人の意識レベルの向上や基礎的なスキルアップは必須であると考え、本セミナーがそれらの足掛かりになれば幸いです。

2014年以降も皆様の要望により、本セミナーが開催できることを心臓CTに携わる一人の診療放射線技師として期待したいと思います。



第三支部

第三支部だより

第三支部理事 庭田 清隆

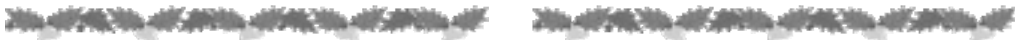
(1) 平成 25 年度 支部合同勉強会開催 (第二支部大西圭一、第三支部庭田清隆、第四支部山田伸司)

日 時： 平成 25 年 12 月 7 日 (土) 13 時 00 分 受付開始

場 所： 埼玉医科大学かわごえクリニック 6 階 大会議室

テ ー マ： 外傷

特別講演： 聖マリアンナ医科大学病院 救急放射線部門責任者 松本 純一先生



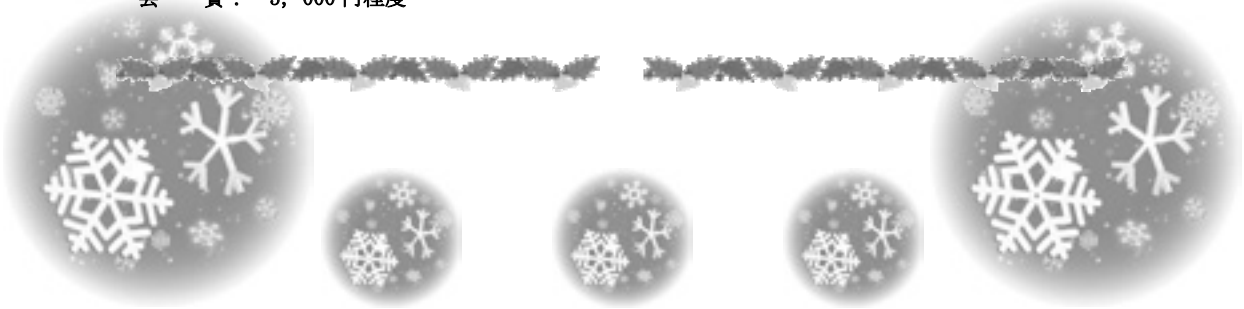
(2) 懇親会のご案内

日 時： 平成 25 年 12 月 7 日 (土) 19 時 00 分 開始

場 所： ラ・ボア・ラクテ川越

埼玉県川越市脇田本町 22-5 TEL 0120-65-7739 (代表)

会 費： 5, 000 円程度



第三地区会

第三地区理事 庭田 清隆

(3) リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越 参加報告

日時：平成25年9月14日(土) 13時00分～平成25年9月15日(日) 13時00分
(15日朝、悪天候により中止)

場所：川越水上公園芝生広場 埼玉県川越市大字池辺 880

参加：46名(第三支部会員 40名を含む)

イベント：乳がん検診説明会

埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 石田 直之
CT コロノグラフィ説明会

埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 清水 隆広
東日本大震災被災写真 平成25年復興状況写真展示 他

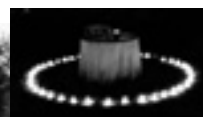
今年も、リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越に参加いたしました。

がん征圧に向けて少しでも役立てればと、乳がん検診説明会、CT コロノグラフィ説明会を開催。また東日本大震災復興に向け、現在の陸前高田市の写真を展示して募金活動を致しました。

台風18号の影響により、15日朝で中止となってしまいましたが、埼玉県診療放射線技師会として46名の方が

ボランティアに参加致しました。

来年も、たくさんの方が支援に訪れることを願っております。



(4) 第三地区ボウリング大会開催報告

日時：平成25年10月23日(木) 19時00分～21時00分

場所：川越ボウリングセンター

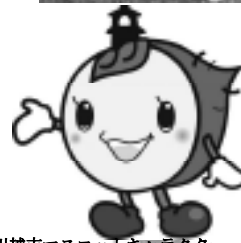
〒350-0806 埼玉県川越市大字天沼新田 318 049-231-3681

(5) 第27回 川越市健康まつり 医療画像展開催

日時：平成25年11月10日(日) 10時00分～14時00分

(オープニングイベント 9時40分～10時00分)

場所：川越市総合保健センター埼玉県川越市小ヶ谷 817-1



川越市マスコットキャラクター ときも



第四支部

忘年会のお知らせ

埼玉県診療放射線技師会第四地区会

会長 山田 伸司



拝啓

秋冷の候、会員、賛助会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は大変お世話になっております。本年も早いもので残りわずかとなり、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

当第四地区会においては、何かと皆様のご協力を賜り、各種事業を執り行うことができ、役員一同感謝しております。

つきましては、皆様の日ごろの御慰労と会員相互の親睦を兼ねまして忘年会を催したく存じます。お忙しい時期ではございますが、どうか多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

なお会場の都合上、出席者の人数を確認致します。ご面倒とは存じますが、出席の有無につきまして、11月16日（土）までに、お近くの地区役員へ電話またはメールにてお返事をいただくと幸いです。

敬具

記

日 時：平成 25 年 11 月 29 日（金）午後 7 時 00 分から

場 所：キングアンバサダーホテル熊谷 熊谷市筑波 1-99-1

TEL 048-501-0077 <http://www.king-a.jp/>

会 費：会員 6,000 円

賛助会員他 8,000 円

宿泊希望の方は、上記 Web サイトをご参照の上、ホテルにお問い合わせください。

以上

問い合わせ	小川赤十字病院	山田 伸司	TEL 0493-72-2333 s-yamada@sart.jp
	小鹿野中央病院	関根 茂夫	TEL 0494-75-2332
	東松山市立市民病院	山崎 由紀敏	TEL 0493-24-6111
	深谷赤十字病院	斎藤 幸夫	TEL 048-571-1511
	深谷赤十字病院	小林 茂幸	TEL 048-571-1511
	行田中央総合病院	萩原 貴之	TEL 048-553-2000
	熊谷総合病院	清水 浩和	TEL 048-521-0065
	羽生総合病院	大野 渉	TEL 048-562-3000

第五支部

第五支部

情報交換会

場所は春日部市にある市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

11月15日 19:00～

詳しくは、HP などでご案内致します。

(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

皆様とのお話ができるような企画を考えております。

テーマなど皆様のご意見をお待ちしております。

11月は金曜日です。

ご参加ご協力をお願い致します。

今年ももうすぐ終わります。参加していただいた方に感謝致します。

またご協力いただいた方に厚くお礼申し上げます。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

第五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

地区の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております。

できる範囲の活動で構いませんので気軽にご協力をお願い致します。

越谷市民祭りに参加しました

今年の祭りも素晴らしい晴天の下、開催されました。

ご協力ありがとうございました。

医療画像展（越谷市民まつり）に参加して

第五支部
越谷市立病院 矢部 智



平成 25 年 9 月 29 日（日）秋晴れの中、第 39 回 越谷市民まつりにて医療画像展に参加した。

毎年恒例となった骨密度測定の準備を終えたところで、9 時を待たずにブースには人が集まり始めた。昨年の測定者は 500 名を超えていたため、今年も支部役員一同気合を入れて臨んでいた矢先に、骨密度装置のトラブルが発生してしまった。すでに 7 名程の順番待ちも発生していた。受け付けを止め、トラブル対応に当たったが骨密度装置は復帰することができなかった。次々と骨密度測定を期待して訪れる方へ事情を説明し対応に追われる中、パネルの見学や 3D ワークステーションなどを案内するも測定ができないことが分かったと、素通りしてしまう方が多かったことはとても残念であった。特に市民祭りという営利を目的としない市民参加型のため、PR 活動の一環によるグッズやノベルティーの配布が多く、じっくりパネルを見たり相談に来る雰囲気は正直ない。それでも今年は、特に子供たちが 3D ワークステーションに興味を示し、長い時間マウスを動かしていたことは印象的であった。（株）アミンの明福氏の協力で、キャラクターや恐竜の 3D 画像の色を変えたり移動したりと子供たちに自由に触れさせていただいたことが興味を引いたのでしょう。また数名ではあったが、じっくりとパネルを見ながら説明に耳を傾けていただけの方がいたことも確かである。

例年、骨密度測定ありきの医療画像展になりがちと思いつつも、測定できなかった方の中には「昨年、少し骨密度が低いわねと言われてから、1 年間食事に気を付けてウォーキングも続けてきたのよ！今年は、骨密度が上がっているかと楽しみだったのよ！」と落胆を隠せないご婦人にはお詫びしかできなかった。改めて、医療画像展の活動内容について考えさせられたと共に、保守管理も技師の重要な役割と痛感した。



※去る 9 月 2 日（月）に越谷市北部周辺で発生した竜巻は、一部に甚大な被害が出てしまいました。

ご心配いただくと共に、たくさんのご支援を賜りこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

第六支部



発行：埼玉県診療放射線技師会第六支部

1. 巻頭言 小島 仁志

埼玉県診療放射線技師会第六支部

2013年10月6日 平成25年度 第4号

巻頭言『経験と初心』

西大宮病院 小島 仁志

はじめまして、第六支部で役員を務めてさせていただいている西大宮病院の小島です。役員として2年半ほど経ちますが、支部の活動を通じて他の役員の方々から数多くのことを学ばせていただいております。教わることばかりの日々ですが、少しは支部のためにお力添えが出来れば良いのですが。

さて今回の巻頭言では少し私のことを話させていただこうと思います。

診療放射線技師になって15年、現在の職場で勤務するようになり14年の月日が経ちました。この間充実して働いてくることができたのは、周りの方々の支えがあったからこそだと思います。また働いてきた色々な場面で周りの方々よりいただいたご指導やご意見は、今日働いている自分の宝物となっています。これらの経験は私で終わりにするのではなく、必要とする人達に今度は私がしっかりフィードバックして行くことが、今後の大切な仕事ではないかと考えています。

私も最近では後輩を指導する立場となり、しばしば口うるさいことを言うことがあります。検査に対しての考え方や向かう姿勢、患者さんに対する接遇などは、私自身がそうであった様に、しっかり指導をして意見を伝えることが、その相手にとっても大切なことであると思うからです。以前に私自身が検査や自分の仕事に没頭するあまり、周囲の状況や流れがよく見えてないときに指導をいただいたことがありました。検査をする際に患者さんの不安や訴えに耳を傾け相手の気持ちを察することや、検査について優しくゆっくり説明することで患者さんの不安も解消することができ、結果として効率的で良い検査や画像を得られることが多いとのアドバイスをいただきました。私自身も実際に心掛けておこなってみると、とても上手くいった経験があります。このような経験は自施設がより良くなるために、どんどんと後輩たちへ伝えてゆきたいと思っております。

15年の月日を振り返ると、働き始めた頃の自分の意識を考えることがありました。診療放射線技師の資格を取得し働き始める時には、誰もが皆いろいろな初心を持って働き始めたのではないかと思います。私も15年前に働き始めるとき思ったことがありました。それは患者さんに対して『優しい医療技術者になろう』ということでした。専門職であるが故の特殊な対応や偉そうな態度をしないで、患者さんに対していつも謙虚さや誠実さを忘れずに働いて行こうという気持ちでした。今の自分の状況を考えると、まだまだ努力が足りないように思います。

医療が高度化している今日、最新の装置や撮影技術は以前より複雑さを増してきています。しかし、私自身がこれらに振り回されて15年前に思った『初心』を忘れてしまうことが無いように、これからも日々意識をしながら仕事に精進していきたく思います。